



総合博物館企画展示「巨大ワニと恐竜の世界 —巨大爬虫類 2億3千万年の攻防—」の開催について（お知らせ）

開催概要：

当館の目玉展示の一つでもあるマチカネワニは、世界からも注目を浴びている日本を代表する爬虫類化石標本です。マチカネワニの祖先にはどのようなものがいたのか、祖先たちは恐竜と戦っていたのか、本展示では北海道初公開となる標本を含め巨大ワニや恐竜化石 48 点（実物 29 点、複製 16 点、復元模型 3 点）を展示し、ワニと恐竜との進化と争いの歴史を紹介します。

7月19日（金）10:00 よりオープニングセレモニーを総合博物館1階「知の交流」コーナーで行います。

開催趣旨：

陸上の王者ティラノサウルス vs 水辺の王者ディノスクス。どちらも体長 10 メートルを超える巨大な絶滅動物です。ワニと恐竜は、共に約 2 億 3 千万年前に地球上に出現し、その後現在まで、あるときは争い、またあるときは共存しながら進化してきました。

企画展示「巨大ワニと恐竜の世界 —巨大爬虫類 2 億 3 千万年の攻防—」では、進化の歴史をさかのぼり、三畳紀後期（約 2 億 3 千万年前）の南米大陸、ジュラ紀後期（約 1 億 5 千万年前）の北米大陸、白亜紀中期（約 1 億年前）のゴンドワナ大陸、そして恐竜が絶滅する直前の白亜紀末期（約 7 千万年前）の世界が、時空を超えて北大総合博物館によみがえります。

主な展示内容

<約 1 億 5 千万年前（ジュラ紀後期）の北米大陸>

湿地帯が広がり多くの恐竜が栄えていた。巨大植物食恐竜のカマラサウルス、凶暴な肉食恐竜のアロサウルスが闊歩していた。この時代のワニはまだ体は大きくないが現在のワニとそっくりな姿形をしている。現代型ワニの誕生である。

<約 1 億年前（白亜紀中ごろ）のゴンドワナ大陸>

南半球に存在したゴンドワナ大陸（アフリカ、南米、オーストラリア、南極、インドの集合体）。水辺を支配したワニは、恐竜と争うかの如く、巨大化を始める。体長 12 メートルを超えるワニ、サルコスクス。この巨大ワニと共存していた肉食や植物食の巨大恐竜を紹介する。

<約 7 千万年前（白亜紀末）の北米とアジア>

恐竜が最も多様化し大繁栄をおさめた時代。ワニも水辺で繁栄を続け、その王者の様を見せつけるかのごとく巨大なワニが北米に存在した。ディノスクスである。地球史上もっとも巨大なワニで、ティラノサウルスと共存し、恐竜をも襲って食べていた。ティラノサウルスを中心に恐竜絶滅直前の世界を復元する。

日程：2013年7月19日（金）～10月27日（日）

※毎週月曜休館（祝日の場合は開館，翌平日が休館となります）

※8月5日（月）はオープンキャンパスのため臨時開館

※9月8日（日）は全学停電のため臨時休館

会場：北海道大学総合博物館（札幌市北区北10西8丁目）

札幌駅北口より徒歩10分

主催：北海道大学総合博物館

共催：大阪大学総合学術博物館

北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」

後援：北海道教育委員会，札幌市・札幌市教育委員会，NHK札幌放送局，HBC北海道放送，

STV札幌放送局，HTB北海道テレビ放送，UHB北海道文化放送，北海道新聞社，

朝日新聞北海道支社，読売新聞北海道支社，毎日新聞北海道支社，札幌観光協会，JR北海道

協力：国立科学博物館，群馬県立自然史博物館，群馬県神流町恐竜センター，茨城県自然博物館，

神奈川県立生命の星地球博物館，有限会社ゴビサポートジャパン

関連セミナー（予定）

日本にいたワニたち

講師：飯島正也（大学院理学院）

日時：7月28日（日）13:00～14:00

会場：総合博物館 N308 講義室

白亜紀の北米の竜脚類

講師：吉田純輝（理学部）

日時：8月4日（日）13:00～14:00

会場：総合博物館 N308 講義室

トリと恐竜の世界

講師：田中公教（大学院理学院）

日時：8月11日（日）13:00～14:00

会場：総合博物館 N308 講義室

「うんち」から見る古生物

講師：園部英俊（大学院理学院）

日時：8月18日（日）13:00～14:00

会場：総合博物館 N308 講義室

サハリン島南部上部白亜系から産出したニッポノサウルスの系統位置の再検討

講師：高崎竜司（大学院理学院）

日時：8月25日（日）13:00～14:00

会場：総合博物館 N308 講義室

恐竜の最新研究

講師：小林快次（総合博物館）

日時：9月15日（日）13:00～14:00

会場：総合博物館 N308 講義室

注意事項:

本学では、構内への車両乗り入れを規制しています。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願いします。

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館（総合博物館ホームページ <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>）

TEL: 011-706-2658 FAX: 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp